



TOWN OF WOOD

木のまち よしの

木で人と人をつなぐ

吉野高校森林科学科が木製ベンチ寄贈



▶吉野高校森林科学科の生徒らと中井町長(中央)



7月11日、吉野町老人福祉センター中荘温泉付設ゲートボール場に、吉野高校森林科学科の生徒3名が製作したベンチ2台が寄贈されました。このベンチは、「木で人と人をつなぐ」をコンセプトに活動を行っている「KINONOWA(きののわ)ぷろじえくと」の一環として製作されたものです。

同校森林科学科では、授業で製作した木製品を町内各所に設置し、地元材に直接触れることで多くの方にその良さを実感してもらうため、またアフターコロナにむけ、吉野を訪れる方へ地元の魅力をPRするため、今後も活動が継続されます。

▶宿泊者たちと語る舩木村長(左)と中井町長



SUSTAINABLE COMMUNITIES

吉野の未来のために

地域創生の最前線を視察

山梨県小菅村

7月22日、中井町長が、山梨県小菅村を視察しました。小菅村は山梨県西部に位置する人口約700人の小さな村ですが、多くの人々が移住・起業し、活力ある取組みを進めている自治体です。視察では、築150年の古民家を改修したホテル「NIPPONIA 小菅 源流の村」において、NPO法人による企業連携の取組みや、「1/2村民」と呼ばれる関係人口との関わり方など、人を起点にした村づくりについて話を伺いました。小菅村で出会った多くの人との意見交換を踏まえ、引き続き、吉野町のまちづくりを進めます。



◀かつて養蚕を営んでいた豪農の邸宅を改修したNIPPONIA 小菅 源流の村の2大家



DO YOUR BEST

キラリ★よしのびと

吉野中 大石さん全国大会へ

7月26日 大会前に中井町長を表敬訪問

吉野中学校カヌー部の3年の大石琴々奈さんが全国大会の出場を前に、吉野町役場を訪れました。「勝ち進むことができるようベストを尽くします。」と意気込みを述べる大石さんに、中井町長は「吉野町の魅力であり資源とも言える津風呂湖で、日々厳しい練習を積んできたことと思います。大会では全国各地からたくさんの方が集まります。コロナ禍で交流は難しいかもしれませんが、楽しみながら大きな大会の雰囲気や緊張感を味わって、また一段と成長してきてください。」と激励しました。



中井町長

大石さん

大石さんが出場切符を手にしたJOCジュニアオリンピックカップ令和4年度全国中学生カヌースプリント選手権大会は、石川県の小松市木場潟カヌー競技場で、7月28日から4日間の日程で開催されました。大石さんの出場種目はカヌースプリント 女子の部 500M カヤックシングルで、約110人が優勝めざして競いました。

吉野ならではのスポーツで輝きを見せた大石さんの今後の活躍が期待されます。



SUMMER EVENT

イベント・年中行事

灯籠流し&サプライズ花火

7月30日 吉野川(上市)

先祖供養や世界平和、コロナ収束の願いを込めた灯籠流しが今年も吉野川で行われました。この灯籠流しは上市商店会青年部の主催で行われたもので、コロナ禍以降は感染防止対策として、例年1,000基のところ、半分の500基にして実施しています。吉野川での灯籠流しは約60年前から続く夏の恒例行事で、地元の人々により引き継がれてきました。当日はサプライズ花火も打ち上げられ、運良く居合わせた人々は、川面に映し出される花火の明かりの中を縫うように流れる灯籠の温かな灯りとともに、夏の風物詩を楽しみました。



◀約75発の花火が5分間にわたって、吉野の夜空を彩りました。写真：山本茂伸氏(灯籠・花火)